

スクラムマスター アジャイルコーチ 年収調査レポート#1

2023・2024年版



著者

・フォンテーヌ グレゴリ



agora x

・長沢 智治



Servant Works
コーポレートワークス株式会社

目次

はじめに.....	3
回答者に関する基本情報.....	4
年収の平均値、中央値、十分.....	5
主な気づき.....	6
1. スクラムマスター・アジャイルコーチの年収には大きな開きがある.....	6
2. 兼務しない方が収入が多い.....	6
3. スクラムマスター・アジャイルコーチの年収は、1年または2年の経験ごとにステップアップする.....	6
4. 上級レベルの認定資格を持つ方が収入が多い.....	6
5. 「アジャイルコーチ」は、「スクラムマスター」よりも84%ほど多く稼いでいる.....	7
6. 十分な回答が集まった業界の中で、スクラムマスター・アジャイルコーチが最も稼いでいるのは、ヘルスケア業と製造業である.....	7
7. フリーランスのスクラムマスター・アジャイルコーチについて.....	7
詳細結果.....	8
1. 役職.....	8
2. 最終学歴.....	8
3. 性別.....	9
4. 年齢.....	9
5. スクラムマスター・アジャイルコーチとしての経験.....	10
6. 国籍.....	10
7. 雇用主.....	11
8. クライアントの状況.....	11
9. 業界.....	12
10. 前職.....	12
11. 兼務.....	13
12. 認定資格.....	13
この調査の著者について.....	14
フォンテーヌ グレゴリ(合同会社アゴラックス).....	14
長沢 智治(サーバントワークス株式会社).....	14

はじめに

本調査は、日本国内におけるアジャイルコーチとスクラムマスターの年収の傾向を調査することで、アジャイルコーチとスクラムマスターの特徴や今後のキャリアを検討するひとつの材料となることを目的に実施した。グローバルでは同様の調査が実施されているが、グローバルの傾向と日本国内傾向が必ずしも同様であるとは限らないため、日本国内に限定した調査を実施することとした。この調査自体も「実験」であり、実験によりどのような事実が浮き彫りになるか、どのような反響があるかも検査し、適応させていくものである。

本調査は、2023年11月から2024年1月25日までにオンラインにて実施した。有効回答者数は75名である。回答いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

回答者に関する基本情報

回答者の84%が男性、12%が女性、4%がノンバイナリーである。

回答者の年齢層は幅広い。回答者の10%は29歳以下。50歳以上の回答者も10%いる。年齢の中央値はおよそ39歳。

回答者の平均年収は10,512,000円。標準偏差は4,828,318円である。

回答者の45%はスクラムマスター、21%はアジャイルコーチ、残りの33%はスクラムマスターとアジャイルコーチの両方を担っている。

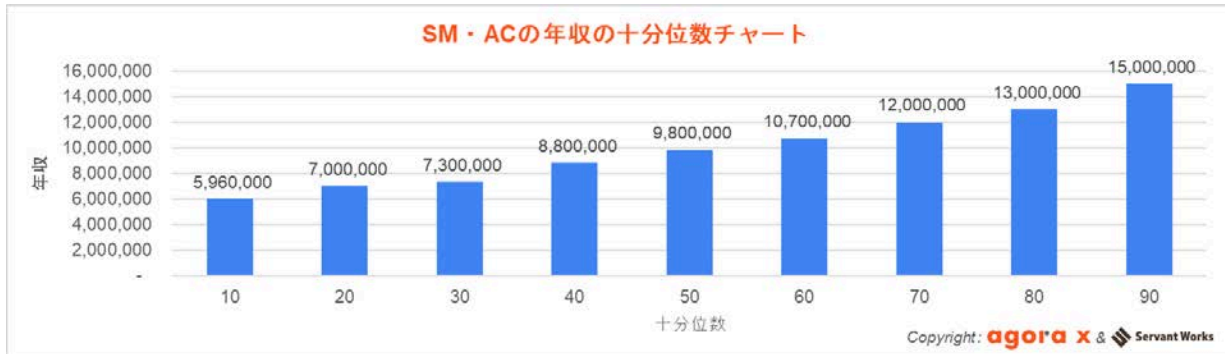
回答者の57%は、スクラムマスターやアジャイルコーチになる以前はソフトウェアエンジニア/開発者であった。

最も多かった5つの業界：ソフトウェア/インターネット(57%)、情報通信(32%)、メーカー/製造業(28%)、ヘルスケア/製薬(16%)、金融(12%)。
なお、回答者は複数の業界を選択できた。

回答者の27%がスクラムマスターまたはアジャイルコーチとして7年以上の経験がある。45%は3年から6年の経験がある。残りの28%は経験年数が2年未満である。

年収の平均値、中央値、十分位数

平均値 10,512,000円	中央値 9,800,000円
---------------------------	--------------------------



主な気づき

1. スクラムマスター・アジャイルコーチの年収には大きな開きがある

スクラムマスター・アジャイルコーチが若手からシニアに至るまで幅広い年齢層によって遂行されている役割であるという事実が浮き彫りになった。回答者の年齢は25歳から58歳までであった。これはまた、スクラムマスター・アジャイルコーチが、チームや組織に提供するサービスの内容や認識される価値が大きく異なることを示唆している。

年代による年収の開きは、20代と50代で平均で2倍以上であった。しかしながら、どの年代においても、他の役割と比較すると年収は高い傾向になるのではないかと推察される(調査対象外のため)。

2. 兼務しない方が収入が多い

57%のスクラムマスター・アジャイルコーチは兼務をしている。そのうち23%がソフトウェアエンジニア/開発者であり、19%がプロダクトオーナー/プロダクトマネージャーであり、10%がプロジェクトマネージャー/PMOである。

兼務していないスクラムマスター・アジャイルコーチ(残りの43%)は、兼務している人より10.4%収入が多いという結果であった。

3. スクラムマスター・アジャイルコーチの年収は、1年または2年の経験ごとにステップアップする

スクラムマスター・アジャイルコーチの年収は、経験年数を増すごとに増加する傾向があることがわかった。特に5年以上の経験を積むことで大きくステップアップにつながっている傾向が見られた。ただし、今回の調査では単に経験を積めば年収が上昇するのか、実績を評価されることで年収が上昇するのかまではわからなかった(調査範囲外のため)。

4. 上級レベルの認定資格を持つ方が収入が多い

例えば、PSM II、PSM III (Scrum.org)、CSP-SM (Scrum Alliance)など、より高度な資格を取得しているスクラムマスター・アジャイルコーチは、資格を持っていない人やエントリーレベルの資格しか持っていない人よりも収入が多いという結果であった。

上記1., 2., 3., 4.をまとめると、スクラムマスター・アジャイルコーチとしての能力を開発し、発揮することに重点を置く人ほど、収入が高くなることが推察される。

5. 「アジャイルコーチ」は、「スクラムマスター」よりも84%ほど多く稼いでいる

スクラムマスターよりアジャイルコーチとしての職責に担っている方が年収も多くなる傾向がわかった。

このスクラムマスターとアジャイルコーチの年収格差は、スクラムマスターの79%が4年以下の経験であるのに対し、アジャイルコーチの81%が5年以上の経験であることから、経験の差によって説明できる部分もある。

また、スクラムマスターは、自社内雇用が多く、アジャイルコーチは外部人材、業務委託が多い傾向があり、それらが反映されたのかもしれない。また、スクラムマスターはスクラムチーム内の責任のため、スクラムチームとしてあるいは担うプロダクトに対する報酬のキャパシティが限られているが、アジャイルコーチは、単一のチームのみならず、複数チーム、複数チームでのプロダクト開発、組織への変革を担うことで報酬の幅がより広いのではないかと推察される。

6. 十分な回答が集まった業界の中で、スクラムマスター・アジャイルコーチが最も稼いでいるのは、ヘルスケア業と製造業である

ヘルスケア業と製造業でスクラムマスター・アジャイルコーチの年収が高い傾向が見られた。これは、それら業界でのアジャイルの浸透度合いが高いからかもしれないし、これからアジャイルが重要視される現れなのかもしれない。

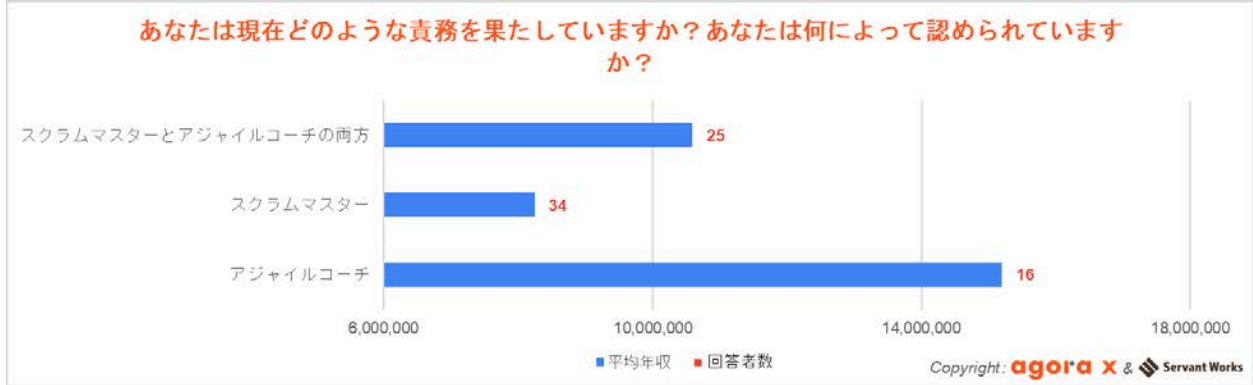
今回の調査では対象としなかったが、外資系企業と日本国内企業での差異が反映されている可能性も推察できそうだ。ヘルスケア業、製造業ともに外資系企業でのアジャイル化は現在進行中であり、それに伴い良質な人材を集めるために報酬も増加傾向になるのではないかと推察される。

7. フリーランスのスクラムマスター・アジャイルコーチについて

フリーランサーは、スクラムマスターやアジャイルコーチの中では少数派(12%)である。彼らの平均年収は14,426,667円で、他の人よりも45%も高い。しかし、フリーランサーの間には大きな開きがあり、最も収入の低い人は年収540万円、最も収入の高い人は年収3,000万円である。結局のところ、フリーランスの年収の差は、そのほとんどが経験の差によって説明できる。したがって、この調査からだけでは、フリーランスになることが必ずしも年収アップにつながるとは結論づけられない。

詳細結果

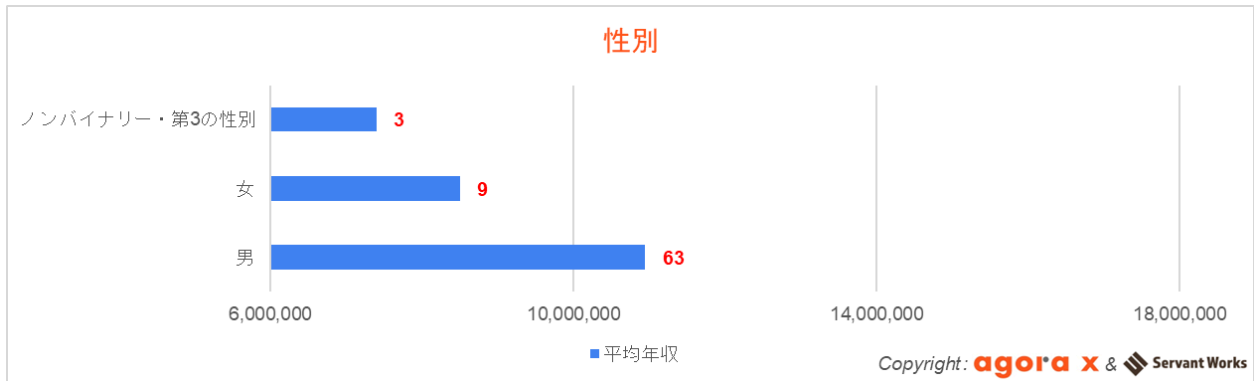
1. 役職



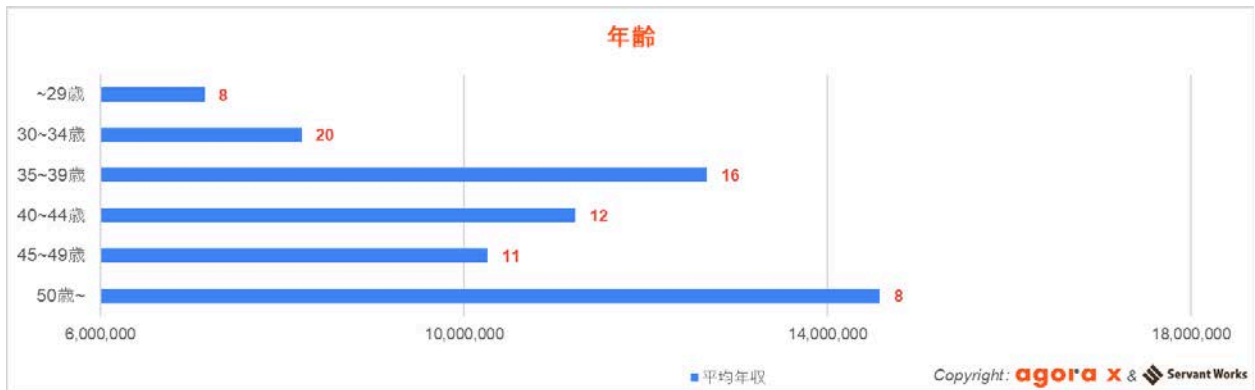
2. 最終学歴



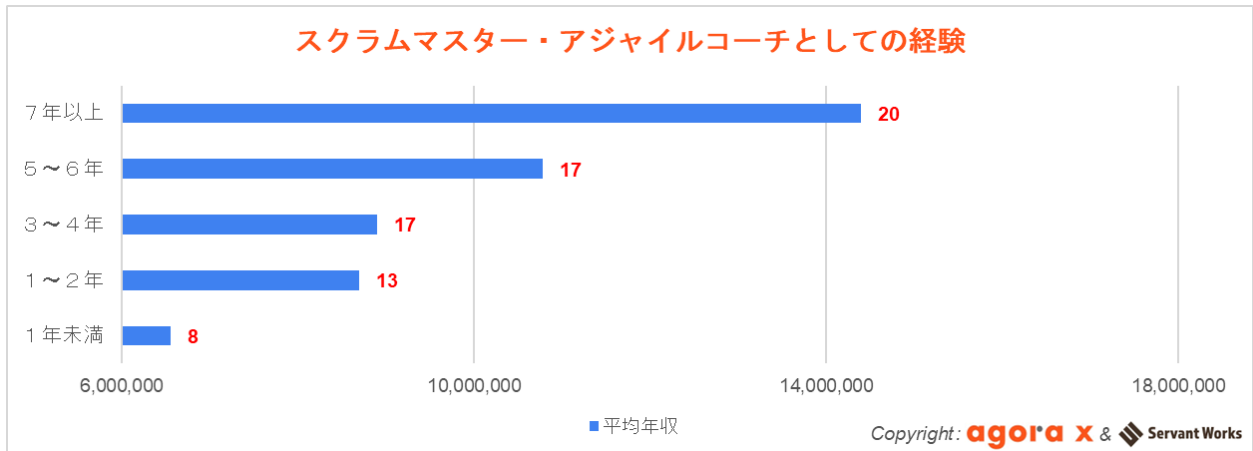
3. 性別



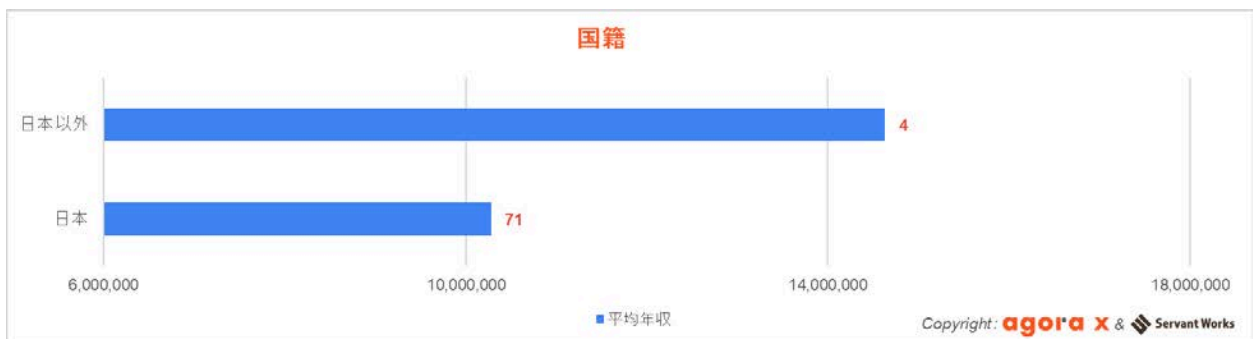
4. 年齢



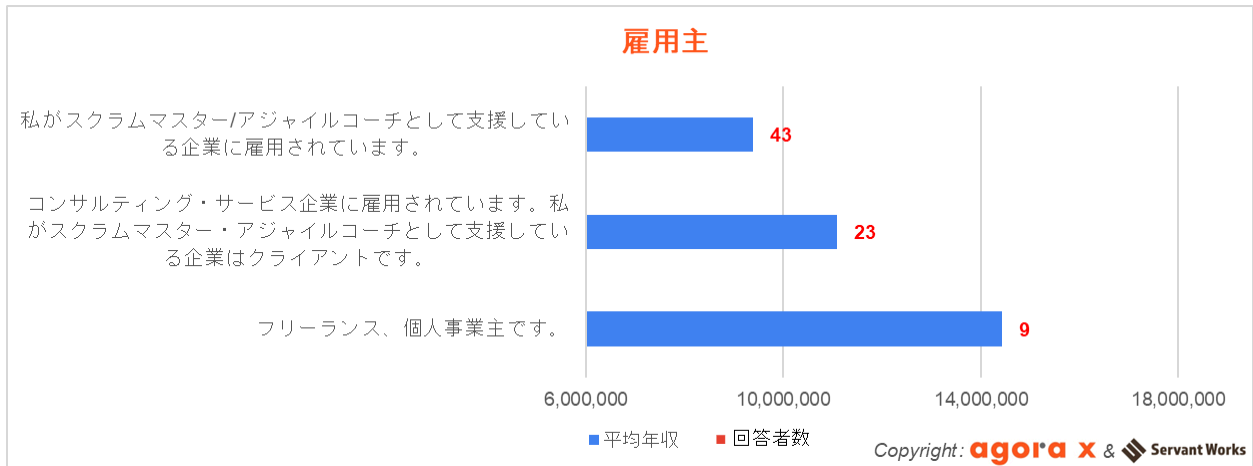
5. スクラムマスター・アジャイルコーチとしての経験



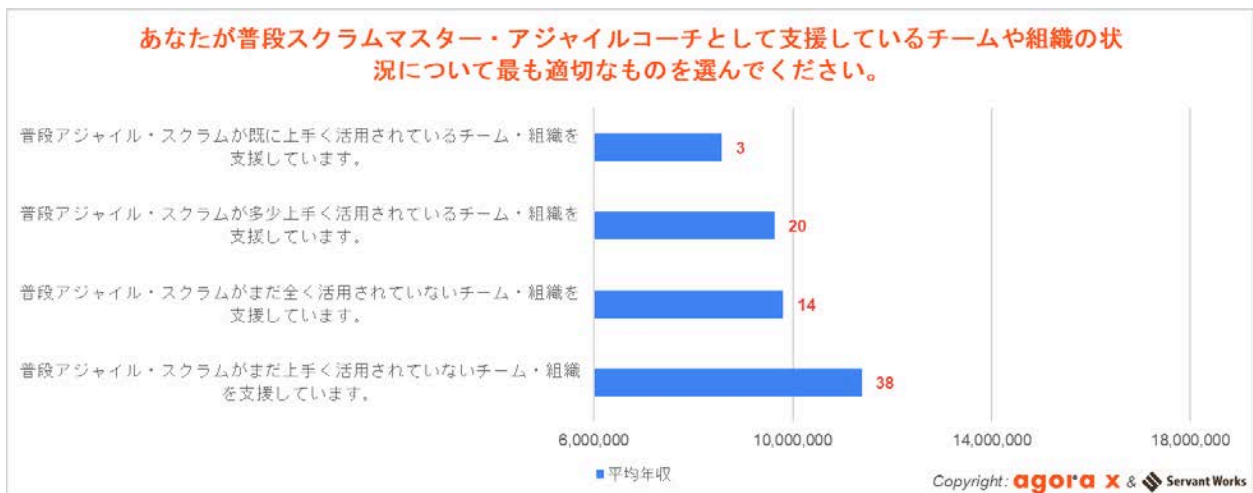
6. 国籍



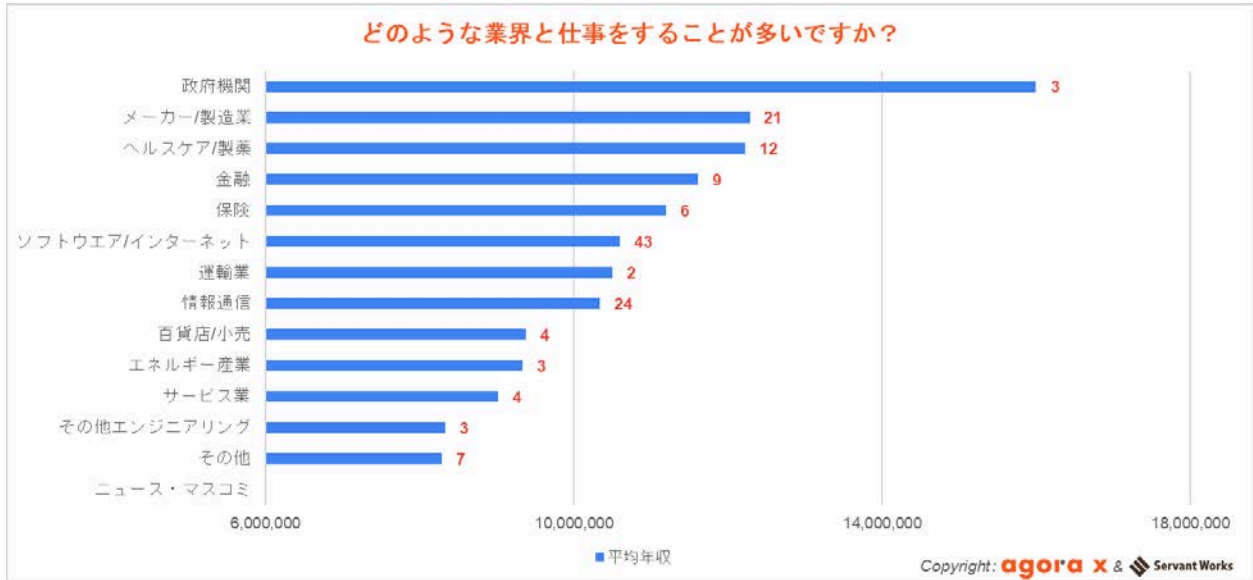
7. 雇用主



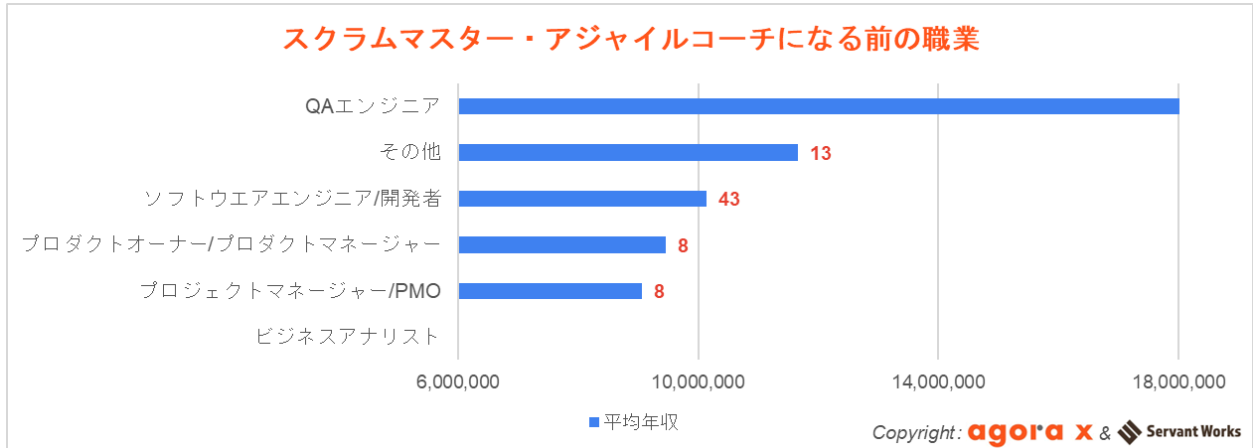
8. クライアントの状況



9. 業界



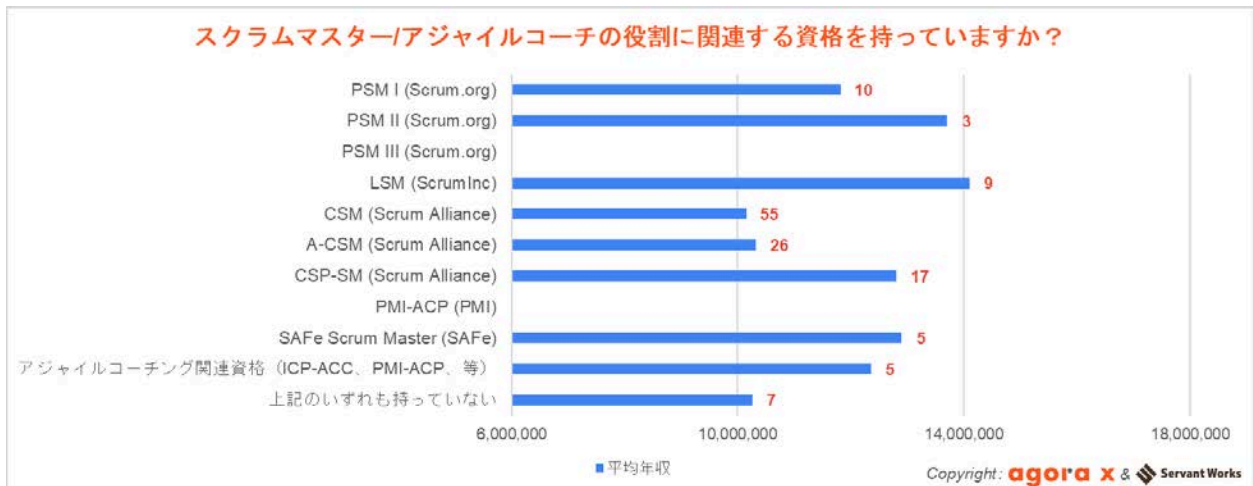
10. 前職



11. 兼務

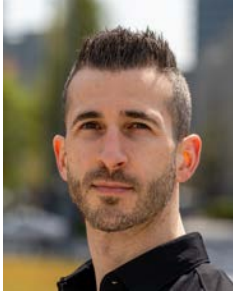


12. 認定資格



この調査の著者について

フォンテーヌ グレゴリ(合同会社アゴラックス)



自己紹介

私、フォンテーヌ・グレゴリ(Fontaine Gregory)はアゴラックスの代表取締役です。世界中の約360人のプロフェッショナルスクラムトレーナーの1人、アジャイルコーチ、コンサルタント、そしてスクラムマスターです。今まで多数のチームのスクラムマスターとして、改善、目標を達成し、顧客が望む製品を提供することを助けてきました。コンサルタントおよびアジャイルコーチとして、主に保険業界や製薬業界の大手企業を、組織、作業、製品開発、および思考の変化へ導くことに成功しています。唯一の日本語を話すプロフェッショナルスクラムトレーナーです。

会社概要: 合同会社アゴラックス

人々やチームが複雑な問題に対応するのを支援すること、そして「真のアジリティーを実現する」ことを目的にして、アジャイル導入支援サービスとScrum.orgの認定スクラム研修を提供しています。

連絡先

<https://www.agorax.jp/> contact@agorax.jp

173-0003東京都板橋区加賀二丁目5番7号

長沢 智治(サーバントワークス株式会社)



自己紹介

サーバントワークス株式会社 代表取締役アジャイルストラテジスト、DASA認定DevOpsトレーナー/アンバサダー、スタートアップ企業アドバイザー(複数社)などを兼務している。ソフトウェア開発のライフサイクル全般を経験した後に、開発する側から開発者を支援する側に回る。日本ラショナルソフトウェア、日本アイ・ビー・エム、ポーランドでは、Unified ProcessやCMMIなどを用いたプロセス改善のプリンシパルコンサルタントとして、マイクロソフト(現日本マイクロソフト)、アトラシアンでは、エバンジェリストやプロダクトマネージャー、マーケティングマネージャーとして、ソフトウェアとの関わり合いを持つ。2018年に独自し、2020年に起業。一貫してコミュニティと共生しながら、現場のアジリティ向上のための伴走支援を行なっている。

会社概要: サーバントワークス株式会社

「the agility consulting company」を標榜するアジャイル伴走支援サービスとチーム向けのトレーニングサービスを主軸にしている。その他、認定トレーニングの提供やスタートアップ企業をはじめとしたマーケティング伴走支援も手がけている。コミュニティとの共生を重視しており、ブログでの無償での情報共有、翻訳記事の提供、イベント協賛なども積極的に行なっている。

連絡先

<https://www.servantworks.co.jp/> contact@servantworks.co.jp

〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本6-5-10